

メタルドリカッター

ロングタイプ MSC-220S

取扱説明書

この度は、メタルドリカッター・MSC-220Sをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お読みになった後の取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管しておいてください。

ご使用前に本書を必ずお読みください

警告

- 適用厚さを超える板材を切断しないでください。
- 本来の使用目的以外で使用しないでください。
- 割れ、かけ、摩擦、変形等の異常が認められた場合は使用しないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。
- 当社に無断で改造しないでください。

ご注意

- ネジ類はしっかり締めてご使用ください。
- ドリルを回転させてから材料の切断をはじめてください。
- 切断箇所から刃部を外す時はドリルを回転させたまま外してください。
- 耐久性を維持するために作業前に必ず切削油(カッティングペースト)を塗布してください。
- 折板の形状によっては切断できない場合もあります。

特長

- 折板や波板 がラクラク切れるロングタイプ
- 双頭パンチビットで他に類のない至便性と耐久性
- 切断スピードに優れる (最高2m/分-3000rpm)
- 作業に合わせてダイスの向きを変えられる
- グリップは着脱式でどちらのダイスにもつけ替え可能
- 付属のステップドリル(12φ)を使用し、下穴をあけることにより丸穴・角穴あけが容易にできる
- 切削能力：折板 / 波板 0.6mm 銅・アルミ板 2.0mm
鉄板 1.6mm プラスチック、ベニヤ 2.0mm
ステンレス板 1.0mm

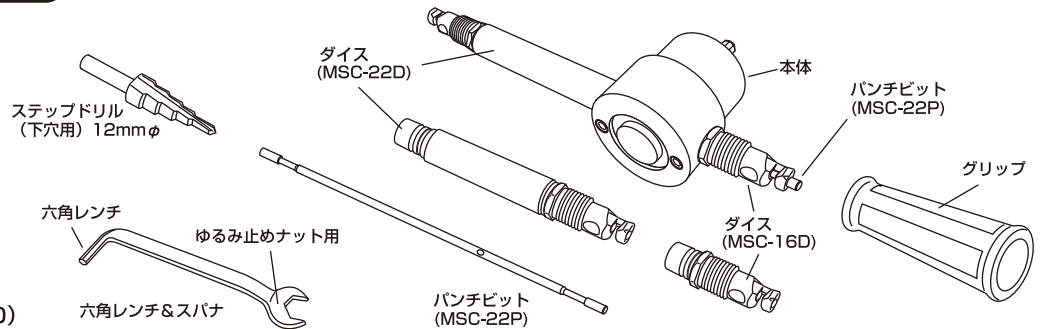
仕様

- 全 長 250mm (グリップ装着時)
- 重 さ 492g
- 本 体 直 径 51mmφ
- ドリル回転数 1500~3000rpm
- 最小切断半径 12mm

セット内容

- 本体：1個
- ダイス (MSC-22D)：2本 (1本装着)
- ダイス (MSC-16D)：2本 (1本装着)
- パンチビット：2本 (1本装着)
- 六角レンチ&スパナ：1本
- グリップ：1本
- ステップドリル(最大12φ)：1本
- 鉄ケース：1個

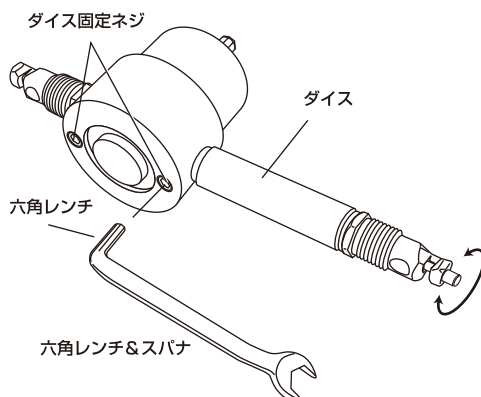
※交換用パンチビット (MSC-22P)
交換用ダイス (MSC-22D・MSC-16D)
も別売にてあります



電気ドリルへの取り付け方法

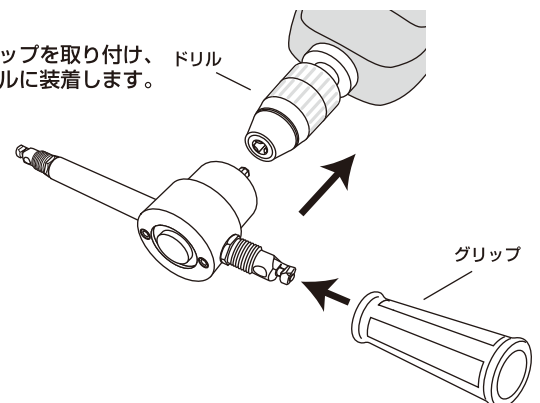
1

- 使用するダイス側のダイス固定ネジを付属の六角レンチで緩めて切断しやすい方向にダイスの向きを調整します。
- 調整し終わったらダイス固定ネジを六角レンチでしっかり締めてください。



2

- グリップを取り付け、ドリルドリルに装着します。



使用方法

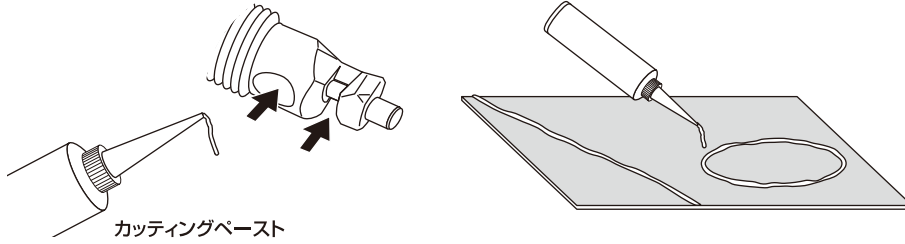
△ ご注意



耐久性を維持するため、切削の前に必ず、カッティングペーストをダイス穴とパンチビット部（下図参照）に塗布してください。また、板材の切断する箇所にもあらかじめ塗布してください。



切断中、熱により切断カスが溶けてビットやダイスに焼き付く場合があります。本体が異常に熱くなる前に冷却時間を設けてください。



カッティングペースト

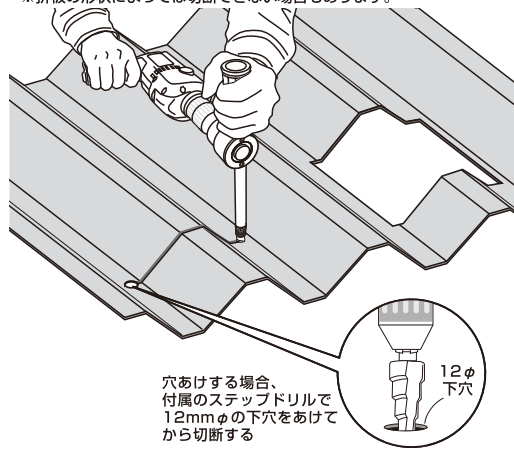
※折板の形状によっては切断できない場合もあります。

● 切削する板をバイス等で固定してください。（作業する際は板の裏側15mm程度の隙間が必要です。）

● ドリルを回転させてから材料の切断をはじめてください。

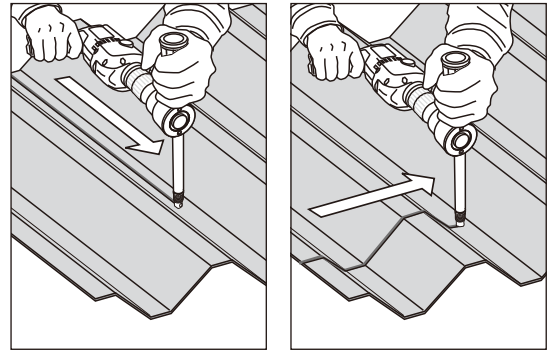
● 図のように保持して切ってください。

● 切断箇所から刃部を外す時はドリルを回転させたまま外してください。



穴あけする場合、付属のステップドリルで12mmφの下穴をあけてから切断する

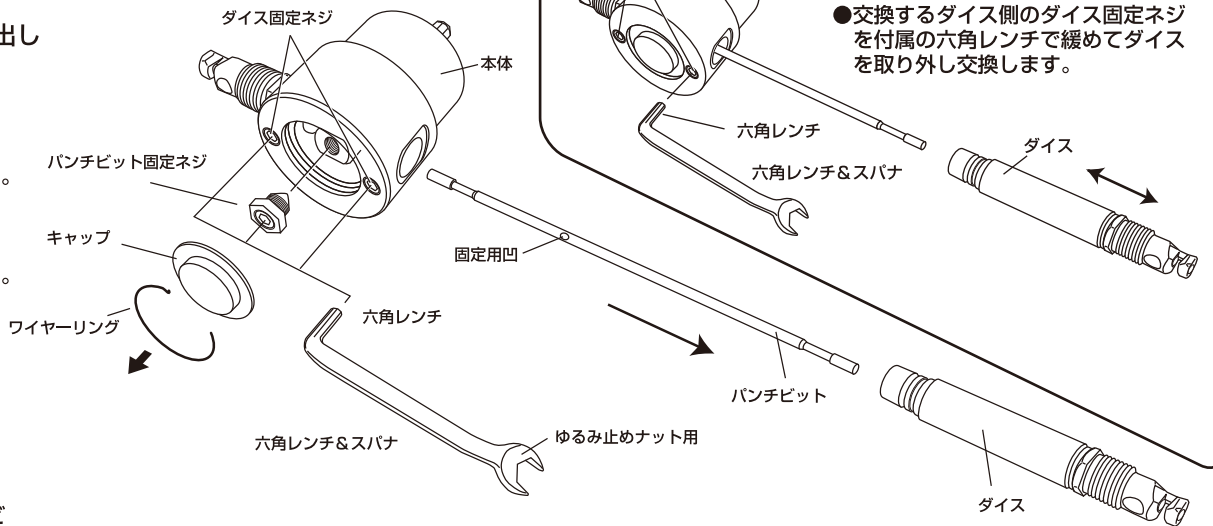
● ダイスの向きを変えることで切りやすい方向で切断できる



パンチビットの交換方法

● パンチビットの取り出し

1. ワイヤリングとキャップを取り外します。
2. ダイス固定ネジをゆるめ片方のダイスを外します。
3. パンチビット固定ネジを六角レンチでゆるめパンチビットを抜き取ります。

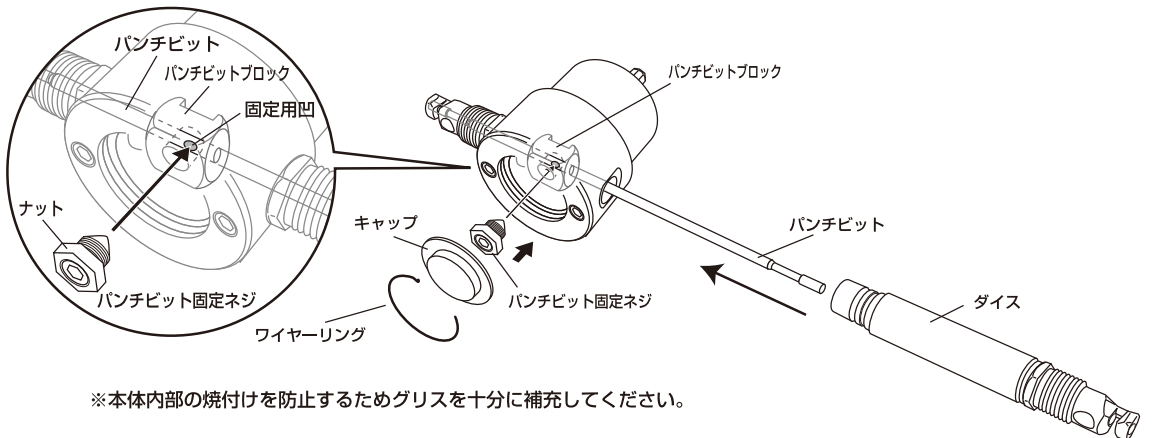


ダイスの交換方法

● 交換するダイス側のダイス固定ネジを付属の六角レンチで緩めてダイスを取り外し交換します。

● パンチビットの挿入

1. パンチビットをパンチビットブロックの穴を通して本体に挿入します。
2. パンチビット固定ネジの先端がパンチビットの固定用凹に入るように入れてパンチビット固定ネジを六角レンチで締め、ナットをスパナで増し締めしておきます。
3. ダイスを取り付け、ダイス固定ネジを締めます。
4. ワイヤリングとキャップを取り付けます。



※本体内部の焼付けを防止するためグリスを十分に補充してください。